

JOHN KAY

Author, Financial Times columnist and one of Britain's leading economists

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Economics
- Finance

John Kayは、英国を代表する経営思想家で経済学者の一人です。

ケイは著名な学者、成功した実業家、世界中の企業や政府へのアドバイザー、そして絶賛されているコラムニストです。彼の仕事は主に産業構造の変化の分析への経済学の応用と個々の会社の競争上の優位性に関係していました。彼の興味はビジネス戦略と公共政策の両方を網羅しています。

ケイは21歳でオックスフォードのセントジョンズカレッジの仲間選ばれたときに学業を始めました。リサーチディレクターおよび財政研究所のディレクターとして彼はイギリスの最も尊敬されているシンクタンクの一つとしてそれを確立しました。それ以来、彼はロンドンビジネススクールとオックスフォード大学の教授、そしてロンドンスクールオブエコノミクスの客員教授でした。

彼はオックスフォード大学のサイドビジネススクールの最初のディレクターでした。

1986年Kayはコンサルティング事業であるLondon Economicsを創設し、1996年までその会長を務めました。彼はHalifax plcの取締役を務め、いくつかの投資会社の取締役を務めています。彼はイギリスのアカデミーの交わりの学問的な区別を受ける管理の最初の（そしてそれでも唯一の）教授です。

KayはFinancial Timesに週刊コラムを寄稿しています。彼は、Corporate Success of Corporate Success[®]1993[®]およびThe Business of Economics[®]1996[®]の著者です。彼の著書Obliquity[®]は、2010年に広く批評家の称賛を集めるために出版され、最新の本「Other People's Money[®]」は2015年9月に発表されました。

ケイは今日の社会科学で利用可能な最も強力な道具を経済学が保持しているが、合理的選択モデルと個々の企業の利己主義の誇張されたそして時々排他的な強調は私たちの経済と社会生活の理解と私たちの経済システムの機能の両方を弱める。このテーマは、今日彼の作品の多くに共通しています。彼の作品は、さまざまな異種の問題を明らかにするために経済的概念を使用しています。